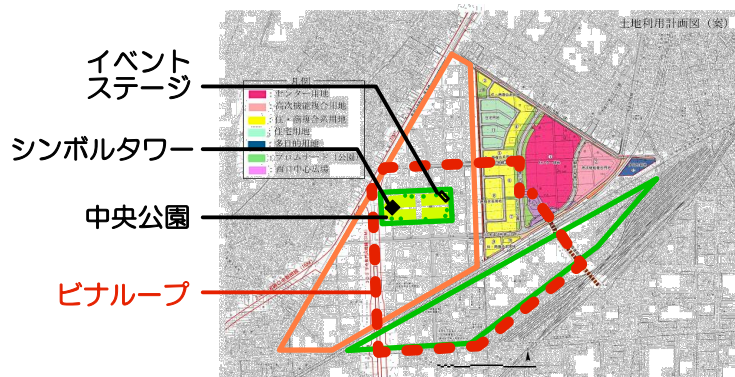


ビナループ ～緑の都市軸と東西のエリアをつなぐにぎわいのループ～

イベント、にぎわい、情報発信の場「中央公園」の整備

海老名市には、西北に三川公園、南西に海老名運動公園があり大規模な運動公園を有していますが、市のブランドを発展させていくような大規模なイベントスペース、市民の憩いの場が現在のところありません。また、駅からの徒歩圏内での利便性や今後の情報発信を考えると再開発エリアに計画する必要があります。

駅から三川公園にのびる緑の都市軸に沿って、様々なイベントに対応することが可能な中央公園を計画いたします。



おおきな屋根のイベントステージ

中央公園には屋根のあるイベントステージを整備して、各種イベントの発表活動の場とします。
ライブイベント等に対応した電気設備を併設します。

大規模な地下駐車場と防災拠点

中央公園の地下は大規模な地下駐車場として、駅周辺の車の交通量を抑制し、渋滞緩和や歩行者の安全確保をします。
また、地下駐車場と地上の中央公園は海老名駅周辺の防災拠点として、緊急時には大規模な避難場所として機能します。

大規模なイベントが可能なお祭りスペース

テントや屋台等の設置や、盆踊りのステージ等の大小さまざまなイベントが可能なお祭りスペースを計画します。
海老名市のイベントだけでなく、民間主催のイベントにも貸出し、官民により海老名ブランドを発信します。

子供が安全に遊べる遊具スペース

再開発エリアは住環境の整備も行われ、子供達の人口も増加いたします。徒歩で遊びにいけないスペースを計画し、子供達が安全に健康に遊ぶことができる遊具スペースを整備します。



イベントステージのイメージ



お祭りスペースのイメージ



遊具スペースのイメージ

中央公園には海老名の象徴「シンボルタワー」を整備

中央公園には海老名市の象徴となるシンボルタワーを整備して、広範囲にわたる再開発エリアの求心性を演出します。
海老名市の西側は大山や丹沢山系、富士山を望むことができます。シンボルタワーには眺望を楽しむための展望機能を持たせることにより、西側の山並みの景観を楽しむことができます。
市のランドマークとして、市民が長年にわたり親むことができる憩いの場となります。

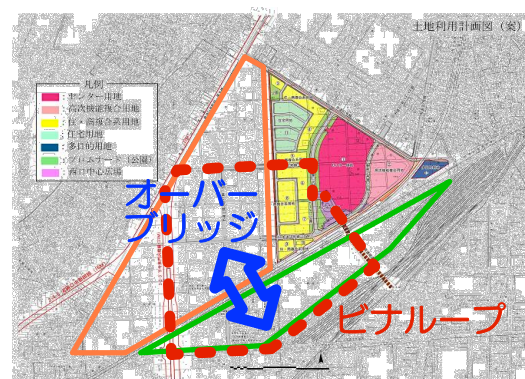


海老名市からの富士山のイメージ

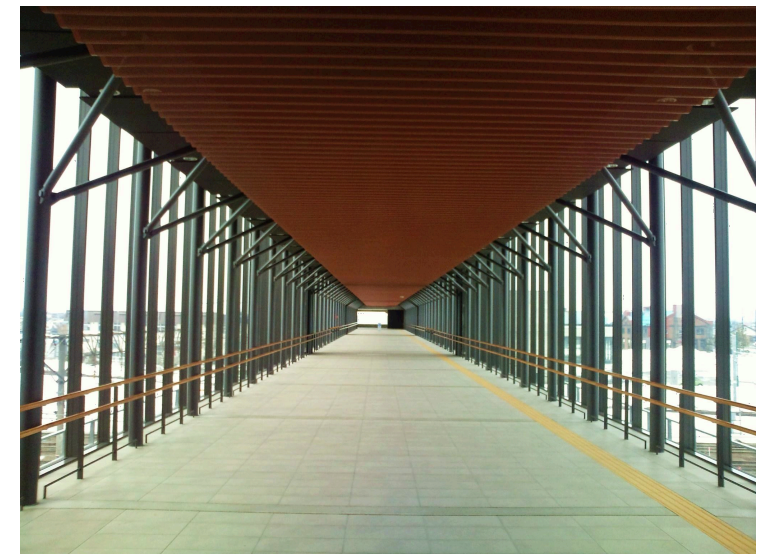


シンボルタワーのイメージ

線路により分かれたエリアをつなぐ「オーバブリッジ」を整備



再開発エリアは、JR相模線により東西のエリアが分断されています。ビナループにより個々のエリアを統合しつつ、エリア中心部にオーバブリッジを整備して、東西の徒歩アクセスの利便性を向上させます。



オーバブリッジのイメージ